

デュアルスイングアウトアーム式・大型フラットディスプレイ壁付け金具 型番 TS-525TU

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

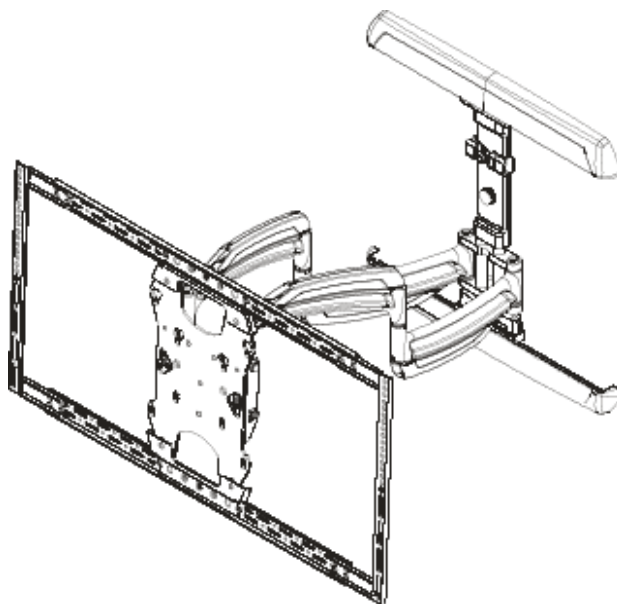
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上正しくお使いください。

とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せる様に保管してください。

必ずお守りください

壁掛け設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。

お客様による工事は一切行わないでください。



販売店様、工事店様へ

- お客様の安全のため、取り付け場所の強度には、少なくともディスプレイおよび金具の合計重量の5倍に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工を行ってください。
- 作業は必ず2人以上で行ってください。
- 取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。

安全上のご注意**ご使用の前に必ずお読みください** **警告と注意！**

警告：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

 警告

作業は必ず2人以上で行ってください。不十分な人員での作業はけがや破損の原因となります。

 警告

部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。

 警告

取付けているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり、非常に危険です。

 警告

ボルトやネジ類は指定の位置に指定の本数を確実に取り付けてください。また壁に取り付ける固定金具類は、付属しておりません。壁の材質や構造に適合した固定金具を別途お求めの上、施工してください。

 警告

開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、けがの原因となります。

 警告

作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください、指をはさまないようにご注意ください。

 警告

ディスプレイの取付作業が行うとき以外、ロック機構で確実にディスプレイを固定しているようにご確認ください。また、ケーブルの取付作業を行うときは、じゅぶんにご注意ください。

 注意

運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください

設 置 の 前 に

■設置場所について



- 壁面は総合荷重に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐え得る施工を行ってください。
- 設置の前に、壁掛けユニットとディスプレイの質量を確認のうえ、壁面の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行ってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な壁面への直接取り付けは行わないでください。幅木や受け木、天井吊り金具には取り付けしないでください。
- コンクリートの壁に取り付ける場合は総合荷重に十分に耐えるアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行った場合、ディスプレイが落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

■設置方法

1. 各種の壁に対応したアンカー類やネジ等は、じゅうぶんな強度を持ったものをご用意ください。
2. 本取扱説明書の安全上のご注意の設置場所についてよくお読みのうえ、ディスプレイの壁面への適切な設置場所を決めてください。
3. 図に従って壁面にアンカー処理、下穴処理等を必要に応じて行ってください。
4. 壁面の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。
5. 壁面マウントを壁面にしっかりと取付けてください。壁面マウントの取付穴上下各2ヵ所以上にバランスよく施工してください。

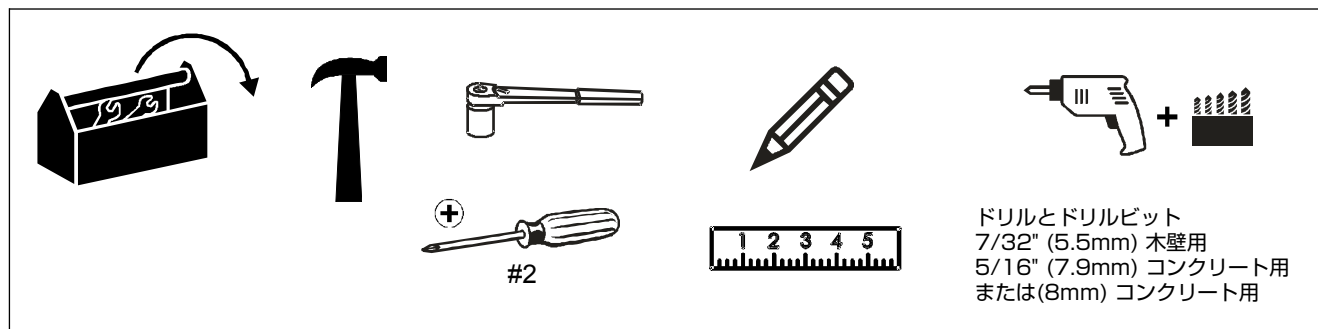
組立手順

■用意するもの

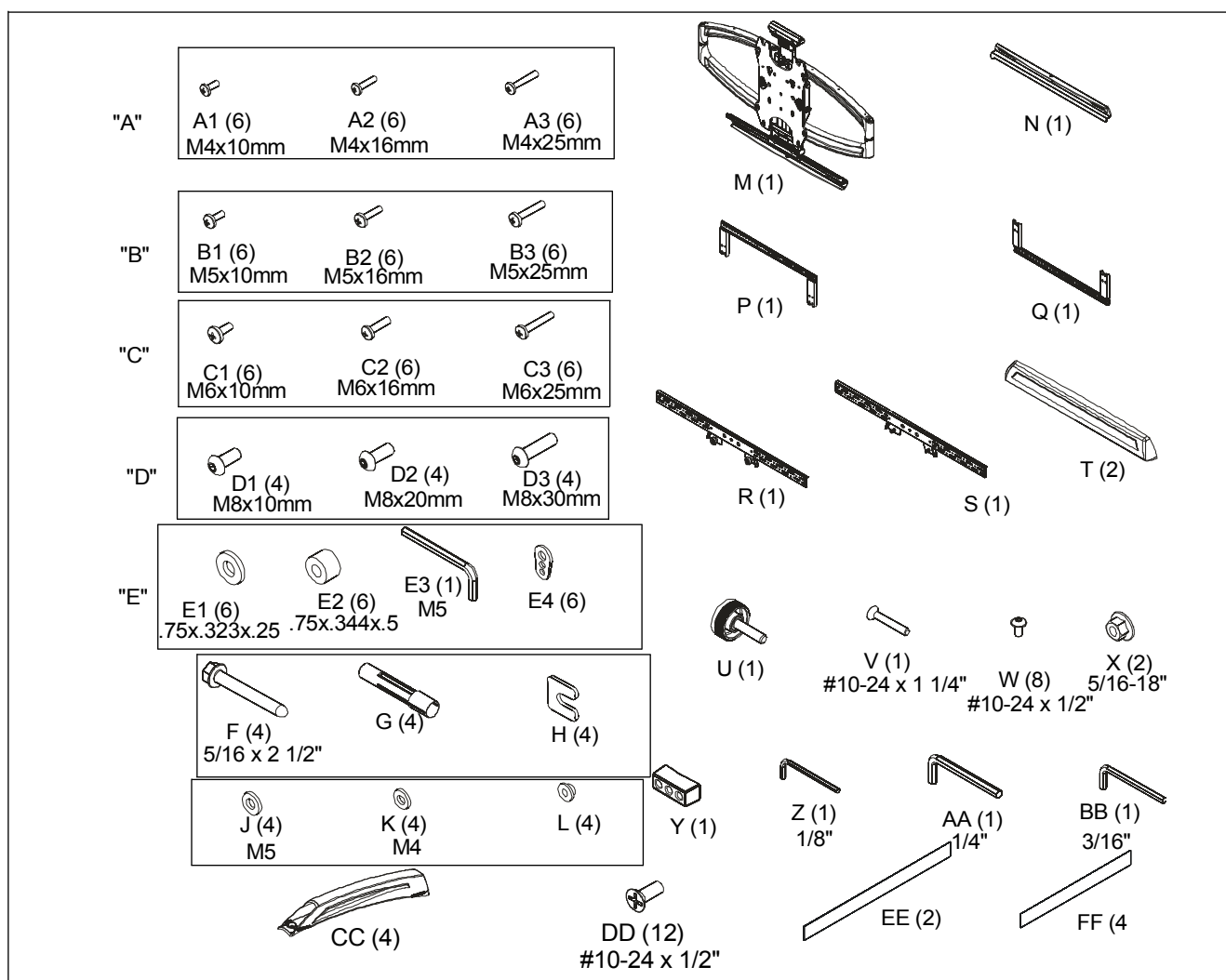
本製品には、ブラケット（ディスプレイ側の金具）が同梱しています。

下記の図の内容物が揃っているか確認してください。

+2 のプラスドライバーをご用意ください。



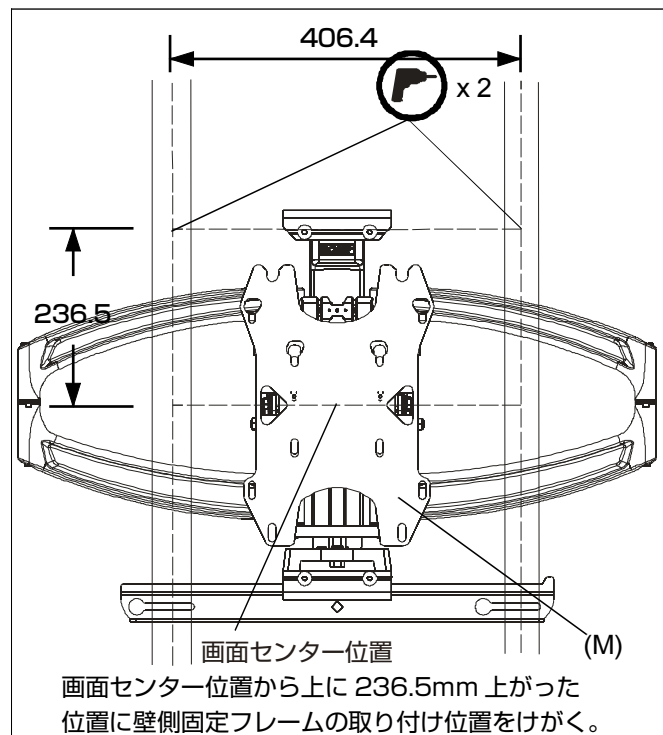
■パーツ



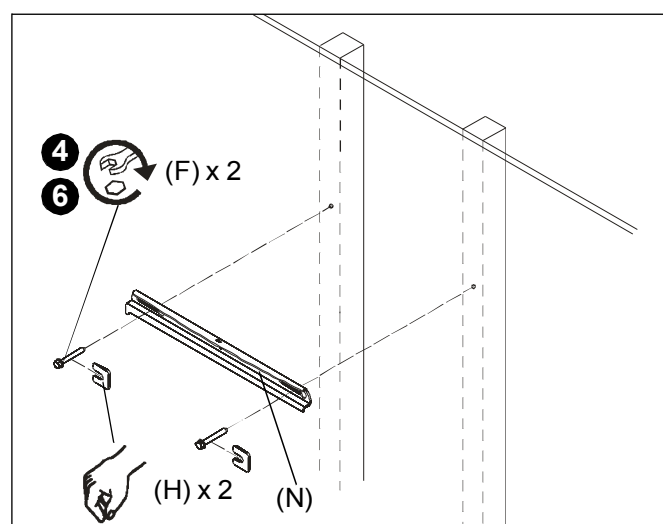
※ 添付品の封入内容は性能向上・対応範囲の変更等の目的で変更することがあります。

◆壁面の位置出し

ディスプレイのセンター位置から上に236.5 mm上がった位置に上側の壁固定フレームの固定ボルト位置が来るようにしてください。



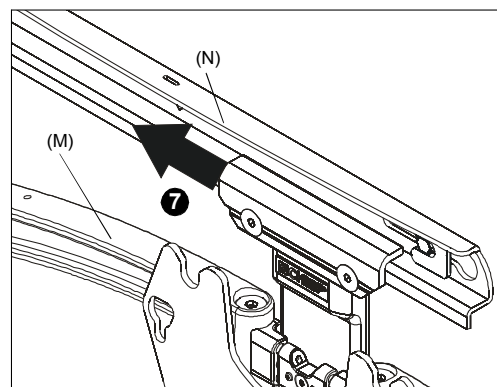
◆メインアセンブリを壁側金具 (N) に取り付ける



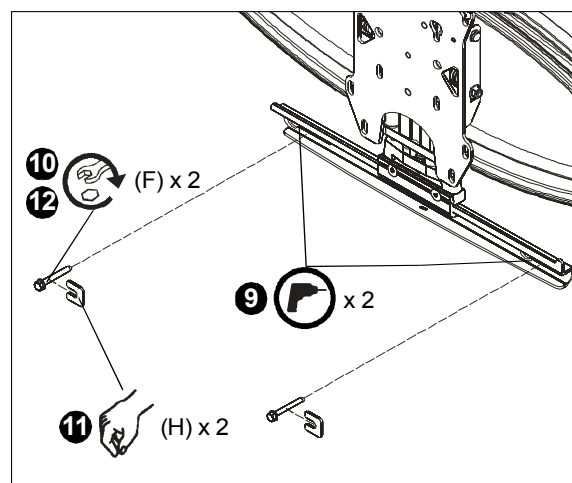
図では、背面に補強の木製の桟を入れています。コンクリート壁の場合は、ディスプレイと本製品の合計重量に5倍の安全係数をかけた耐荷重に耐えられることを想定した施工をお願いします。

◆上側の壁固定フレームにメイン金具を取り付ける

メイン金具は2本の六角ナットで固定されます。



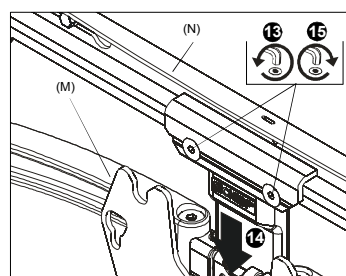
◆下側固定フレームの取り付け



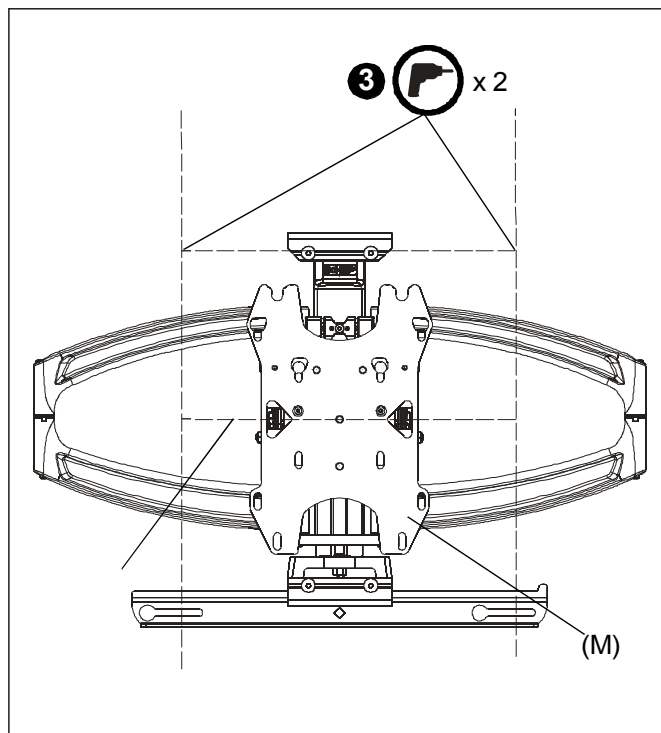
下側固定フレームを壁に取り付けます。

(H) の安全ワッシャーは取り付けてください。

◆センター位置が決まったら、六角ボルトを固定します

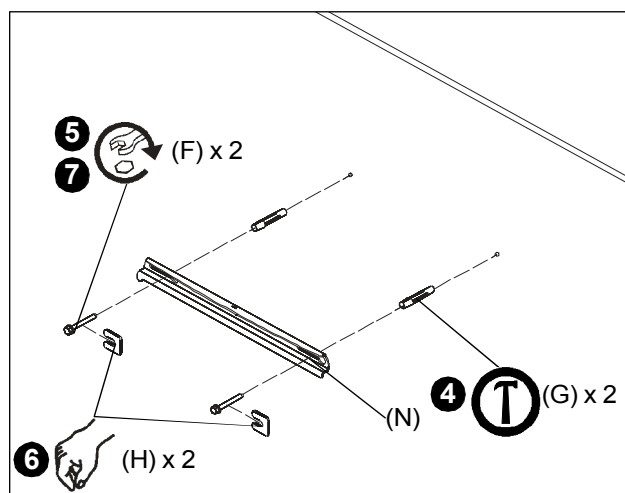


◆コンクリート壁での施工方法



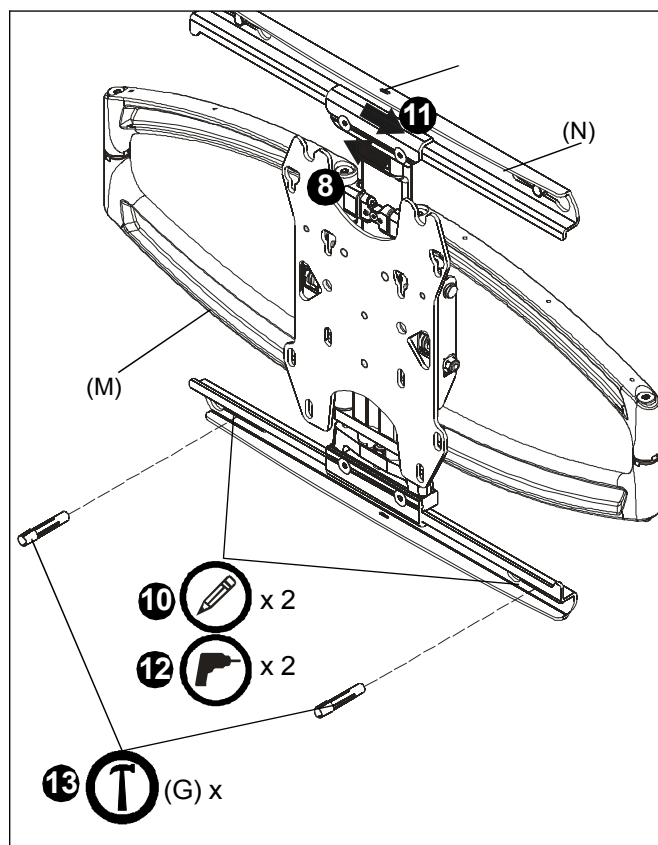
固定場所がコンクリートの場合は、あらかじめ固定位置をすみ出しの上、3/8" サイズのコンクリートアンカーと固定ボルトを使用して取り付けてください。

◆上側金具の固定方法



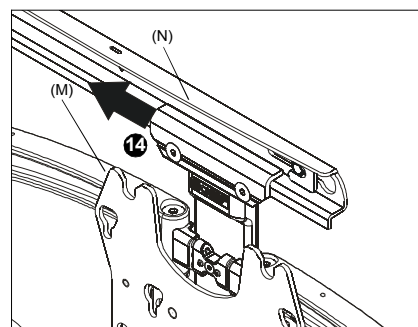
ディスプレイセンターから上に236.5 mm 上がった位置に406.4 mm 幅でふたつの固定穴をあけてアンカーを取り付けます。

◆下側金具の取り付け手順



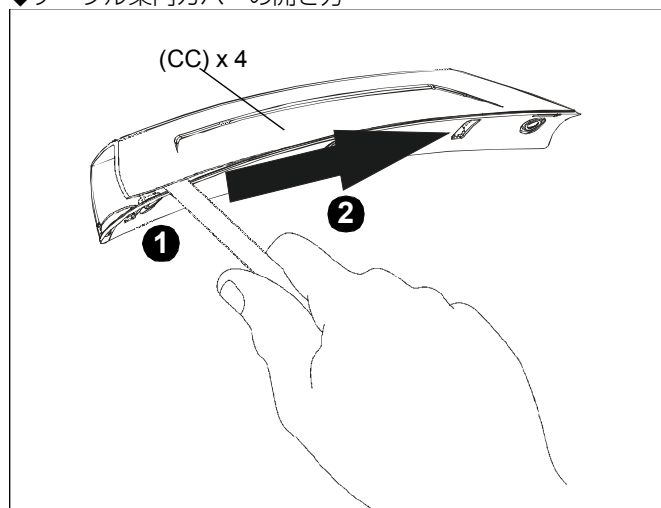
上側金具の固定と同様に、アンカーを利用して固定します。

◆ディスプレイの左右調整



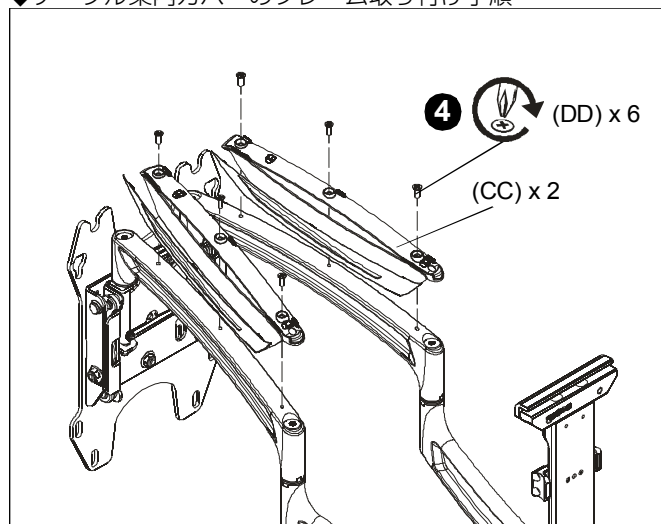
図のように、ディスプレイの左右調整をすることができます。六角ボルトで（14）の位置のボルトをゆるめて調整してください。

◆ケーブル案内カバーの開き方



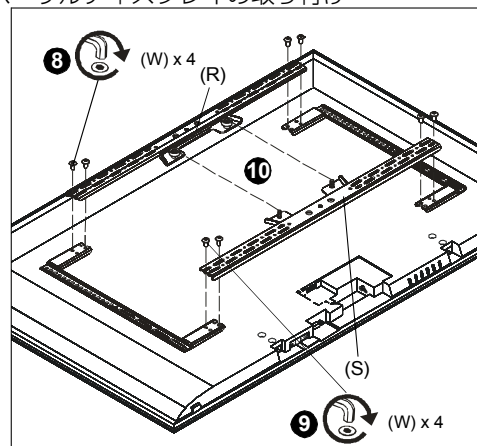
図のように、カバーに小型マイナスドライバーを溝に差し込んで、開いておく。

◆ケーブル案内カバーのフレーム取り付け手順



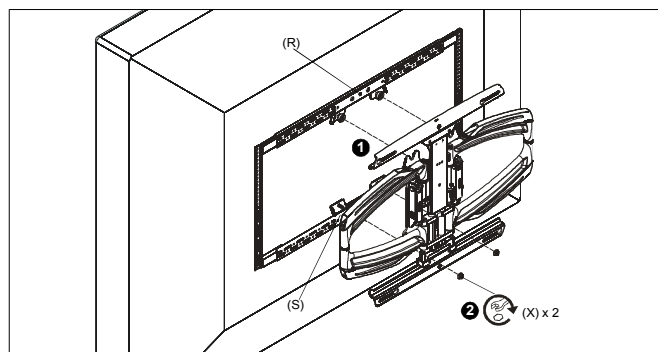
カバーに開いているビス穴に、付属の (DD) ネジを利用して固定します。

◆ユニバーサルディスプレイの取り付け



ディスプレイにはユニバーサルディスプレイを用いて固定します。ディスプレイの背面取り付けネジ位置に合う様に固定します。

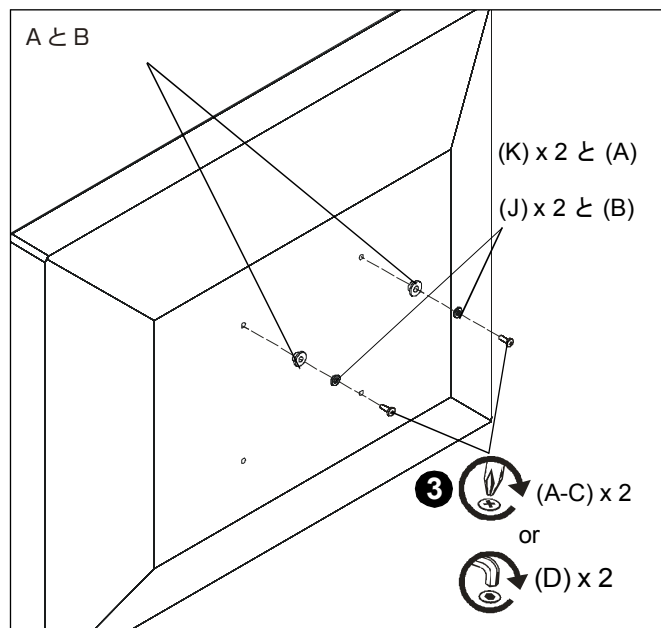
◆本体とユニバーサルディスプレイブラケットとの合体



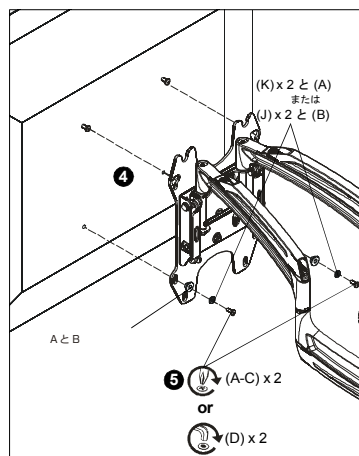
上図の要領で、壁側ユニットとあらかじめディスプレイに取り付けたユニバーサルブラケットをセットします。取り付けたあと、(X) ネジで固定します。

◆100×100、200×200または、200×100の場合
VESA の各サイズの場合、ユニバーサルブラケットは使用しません。

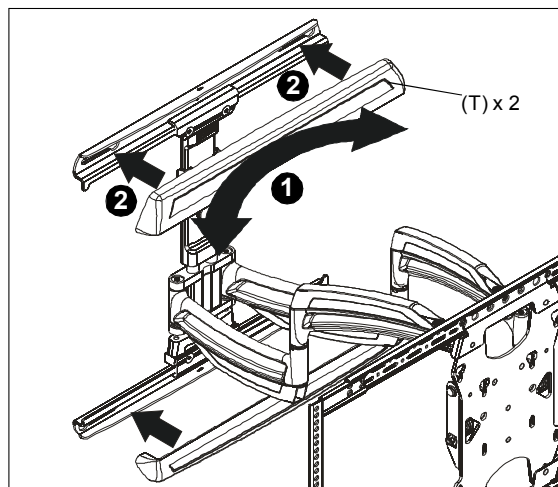
まず、ディスプレイ取り付けビスの上側に図のようなアタッチメントを介してネジを取り付けます。



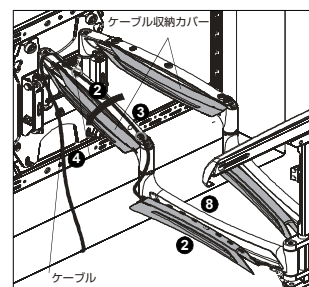
下記の要領で、ディスプレイ側に直接固定アタッチメントを取り付けて、ダイレクトに本体金具に取り付けます。



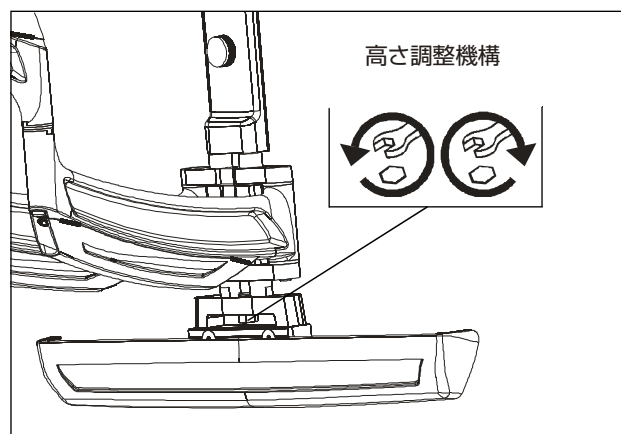
◆化粧カバーの取り付け



◆壁側フレームに化粧カバーを取り付けます。

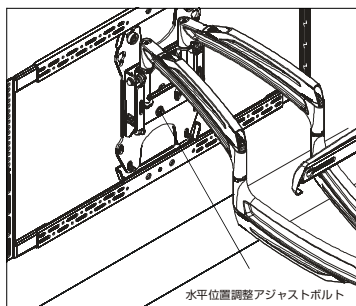


◆ディスプレイ高さ調整



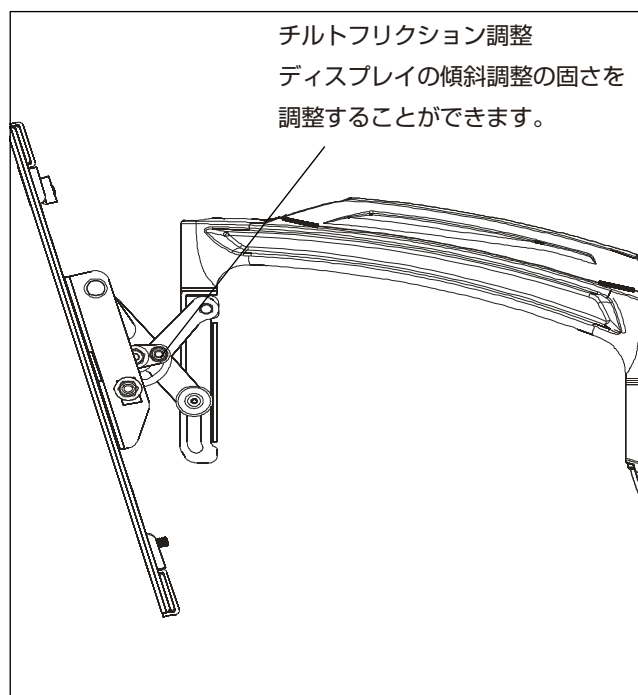
とで上がります。時計回りすると下げることができます。

◆左右水平傾き調整



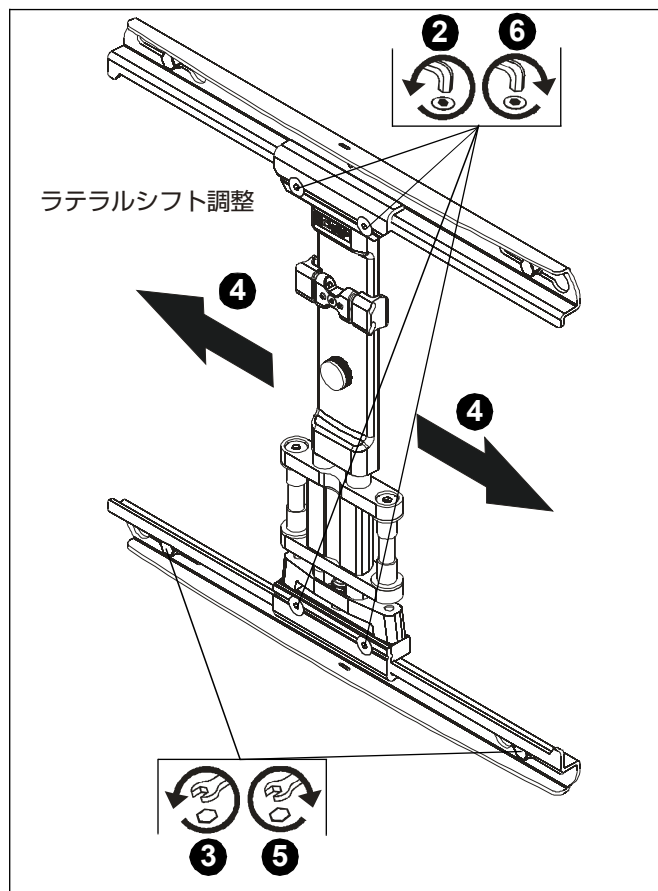
ディスプレイを正面に見て左右いずれかに傾いている場合は、図の場所にある調整ビスをゆるめて調整してください。

◆チルトフリクション調整



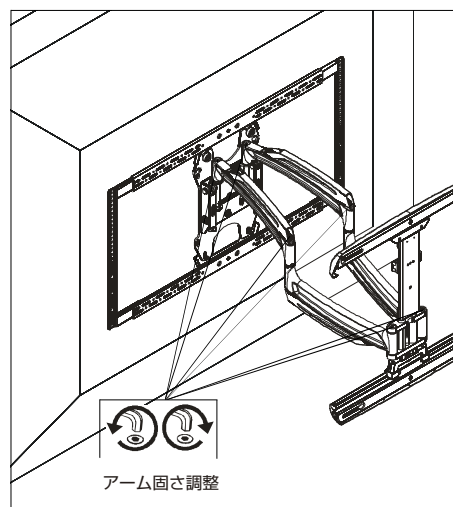
ディスプレイの重量やサイズの関係で、傾斜角度調整の固さが適切でないと感じられる場合は、図の場所にあるチルトフリクション調整アジャスターで、調整固さを適正にしてください。

◆ラテラルシフト調整



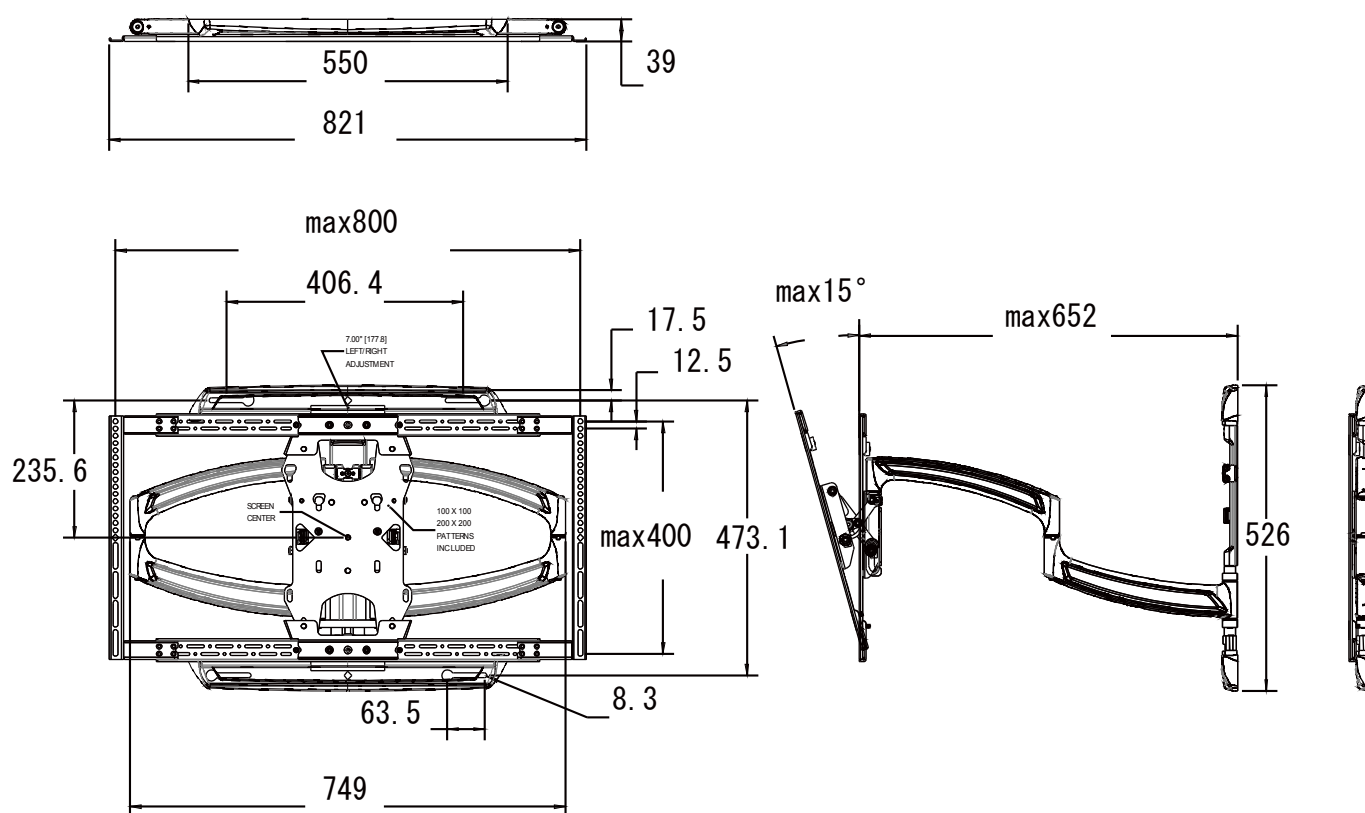
ディスプレイ金具を壁に取り付けた痕、左右の位置を調整する場合は、図のように、(2) (6) (3) (5) の4箇所の六角ナットを緩めて左右に調整することができます。

◆アーム固さ調整



アームの固さを調整する場合には、図の場所のアジャスターを適宜調整して最適な固さに調整してください。

■外形寸法図



単位: mm

チーフ正規輸入総代理店



株式会社
映像センター
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.

■システム販売事業部

＜首都圏＞ 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー8階	TEL. 03-3527-8660	FAX. 03-3527-8666
＜関西＞ 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-18-25	TEL. 06-6836-7827	FAX. 06-6310-6144

■本社オフィス	〒135-0063 東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー8階	TEL. 03-3527-8571(代)	FAX. 03-3527-8580
■大阪オフィス	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-18-25	TEL. 06-6836-7591(代)	FAX. 06-6310-6144
■名古屋オフィス	〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田3-31-25	TEL. 052-322-5791(代)	FAX. 052-322-0219

【関連会社】■広州愛維希会展服務有限公司（広州・北京・上海） ■HONG KONG AVC LIMITED (香港)